第23号
NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
Newsletter 2020（令和2）年 12月 10日　発行

のばす会・ネットワーク便り

本部事務局　〒 475-0817　愛知県半田市東洋町 1-8　アイプラザ半田 109，110 号室
代表理事　赤松　由隆
080-1622-5717
E-mail　nobasukai1993@gmail.com
web　http:www.f-school.jp/nobasukai
web　http://f-school.jp/nobasukai/
https://www.facebook.com/nobasukai

コロナ禍におけるサービスラーニング

スタッフ　伊藤　敦

学生達はオンラインを通し、スタッフの声を捉えるべく必死で助言を聴く、と言った緊張感溢れるものでした。」
――困難を極めたオンライン（ZOOM）によるサービスラーニングでした。参加した学生たちも私たちスタッフの発する声を必死に捉えようとする中で行われました。「現場に行かなきゃわかんない！僕たちは、のばす会を訪問したいんだ！」と言う学生達の気持ちが嫌でも伝わってくるという、今年度は真にイレギュラーなサービスラーニングでした。―-

学生達の質問で一番多かったのは、「子どもたちと接する上で一番大切なことは何か。」ということでした。「何かして上げよう。積極的に関わって行ってあげよう。」と考えるのではなく、それは「絶えず子どもたちを見守りながら、先ずは寄り添ってくれることです。」と僕は答えておきました。

サービスラーニングプログラムは、日本福祉大学と地域の各種団体との協働の下、次世代を担う学生が実際に社会活動に関わることを通して、社会性及び市民性を獲得することを目的としています。それは日本福祉大学社会福祉学部のフィールド実践演習として位置付けられているものです。（「日本福祉大学　サービスラーニングプログラム覚書」より）

今年度の学生達も、運動が得意で「ばく転」には絶対の自信を持つ学生、ピアノ奏楽の好きな学生、不登校経験者など多彩です。ほとんどの学生がスクールソーシャルワーカーを志望しています。いずれ厳しい現実に直面する彼らに、今は、「初心忘るべからず。」のエールの言葉を添えておきたいと思います。

のばす会ＺＯＯＭ交流会

日本福祉大学２年　船川　瑞基

今回の zoom をつかったのばす会との交流会を通して私たちは子どもへの支援方法について今まで想像していた支援とは全く別の物である事が分かった。私たちはこれまでゼミの活動を通して子ども達にどのような支援を行えばよいかみんなで意見を出し合い、考えてきた。しかし、今回の交流会で先輩と伊藤先生の話を聴かせて貰い、支援を行う事だけが子どもの心を開くことでは無いことが分かった。ただ子ども達と一緒の空間で共に過ごすことで子どもが心を開き、こちらに寄り添ってくることがあることが分かった。逆に迂闊な支援を行うと子どもは私たちが自分たちの心の中に無理矢理踏み込もうとしていると思い、拒絶してしまうことがあることも分かった。今回の交流会を通して私が最も共感したことは子どもに心を開いて貰うように自分が直接働きかけるのでは無く、子どもからこちらに心を開いて貰える様な環境を私たちが作っていくことが子どもとの関わりで最も大切なことであると思った。

フリースクールは今

『やっと会えたね！』～アニマルセラピー

コロナウイルス感染症対策のため、のばす会でも長らくアニマルセラピーを中止していました。しかし、やっと１０月からアニマルセラピーを再開しました。ただし、三密を避ける意味で戸外でできる犬のみの参加とさせていただきました。いつものパールちゃん、リボンちゃん、テレサちゃん、あずきちゃん、そして特別参加のいちごちゃん。ここに来ると犬たちもリラックスムード全開です。木陰でゆったりと手足を伸ばしています。犬たちのリードを持って、中庭を散歩する子もいます。頭をなでたり、抱っこしたり・・・。犬たちだって、触られることがまんざらでもなさそうです。私たちもできれば犬をずっと抱いていたい気持ちになるから不思議です。

アニマルセラピーって、理屈じゃないですよね。抱っこしたときに伝わってくるあのあたたかさ。犬たちに話しかけるときの声のやさしさ。しっぽを振ってすり寄ってくるときの力具合、そして、犬たちを真ん中に犬の話で盛り上がります。…そういうものすべてに私たちは癒されているのではないでしょうか。子どもたちの顔がほころんでくるのが分かります。みんなみんなアニマルセラピーを心待ちしていました。「やっと会えたね！」

スタッフ　村瀬　明子

自分が大切と思うことが、本当に子どもにとって大切なことでしょうか？

臨床心理士　米村　高穂

親や支援者は誰しも、子どもにこうなってほしいという願いを持っています。しかし、心に悩みを抱える子どもと関わる上では、その願いが裏目に出てしまうこともあります。例えば、学校を休んでいて、「せめて給食だけでも行ってほしい」と保護者や教員が思ったとします。しかし、もし本人が校門をくぐるだけでも人の目が気になって車の下に隠れてしまうとしたら、その願いは子どもの現在の状態に見合っているとは言い難いでしょう。これと似ていることが進路選択でしばしば見られます。親としては、進学校だとか公立高校に行ってほしい、少しでも良い大学に入れば安定した職場に就職できる、そうなれば安泰などと思う、給料や会社の安定はとても大切ですが、それだけが幸せのバロメータとは言い難いですし、何よりそれは本人が判断することです。そして、子どもはそもそもそのような生き方を望んでいるのでしょうか。

大切なのは、自分の願いの通りに進めることよりも、子どもの「現在の状態」「特性」、そして「本人の気持ち」を理解する事です。このようなことに親や支援者が気づけるかどうかがとても大切です。私たちは「こうした方がいい」と強く思っている時ほど、子どもを型にはめ、子どもが自分らしく生きることを妨げてしまう可能性があります。それは、主体が「自分」になっているからです。自分の願いを一旦脇におけるかどうかは、色んな人たちと触れ合い、色々な価値観に開かれていることが大切です。

フリースクールは今

「やっと会えたね！」～アニマルセラピー

コロナウイルス感染症対策のため、のばす会でも長らくアニマルセラピーを中止していました。しかし、やっと１０月からアニマルセラピーを再開しました。ただし、三密を避ける意味で戸外でできる犬のみの参加とさせていただきました。いつものパールちゃん、リボンちゃん、テレサちゃん、あずきちゃん、そして特別参加のいちごちゃん。ここに来ると犬たちもリラックスムード全開です。木陰でゆったりと手足を伸ばしています。犬たちのリードを持って、中庭を散歩する子もいます。頭をなでたり、抱っこしたり・・・。犬たちだって、触られることがまんざらでもなさそうです。私たちもできれば犬をずっと抱いていたい気持ちになるから不思議です。

アニマルセラピーって、理屈じゃないですよね。抱っこしたときに伝わってくるあのあたたかさ。犬たちに話しかけるときの声のやさしさ。しっぽを振ってすり寄ってくるときの力具合、そして、犬たちを真ん中に犬の話で盛り上がります。…そういうものすべてに私たちは癒されているのではないでしょうか。子どもたちの顔がほころんでくるのが分かります。みんなみんなアニマルセラピーを心待ちしていました。「やっと会えたね！」

スタッフ　村瀬　明子

自分が大切と思うことが、本当に子どもにとって大切なことでしょうか？

臨床心理士　米村　高穂

親や支援者は誰しも、子どもにこうなってほしいという願いを持っています。しかし、心に悩みを抱える子どもと関わる上では、その願いが裏目に出てしまうこともあります。例えば、学校を休んでいて、「せめて給食だけでも行ってほしい」と保護者や教員が思ったとします。しかし、もし本人が校門をくぐるだけでも人の目が気になって車の下に隠れてしまうとしたら、その願いは子どもの現在の状態に見合っているとは言い難いでしょう。これと似ていることが進路選択でしばしば見られます。親としては、進学校だとか公立高校に行ってほしい、少しでも良い大学に入れば安定した職場に就職できる、そうなれば安泰などと思う、給料や会社の安定はとても大切ですが、それだけが幸せのバロメータとは言い難いですし、何よりそれは本人が判断することです。そして、子どもはそもそもそのような生き方を望んでいるのでしょうか。

大切なのは、自分の願いの通りに進めることよりも、子どもの「現在の状態」「特性」、そして「本人の気持ち」を理解する事です。このようなことに親や支援者が気づけるかどうかがとても大切です。私たちは「こうした方がいい」と強く思っている時ほど、子どもを型にはめ、子どもが自分らしく生きることを妨げてしまう可能性があります。それは、主体が「自分」になっているからです。自分の願いを一旦脇におけるかどうかは、色んな人たちと触れ合い、色々な価値観に開かれていることが大切です。

東海ろうきんＮＰＯ労金寄付システムについてのお願い

東海ろうきんがあなたの「何とかしたい」「力になりたい」という想いをＮＰＯに託して実現させるボランティア活動を展開しています。寄付は東海ろうきんの普通預金から自動振替されます。

寄付額は毎月１００円から手数料なしで希望の金額で無理なく寄付できます。のばす会も寄付先に入っていますので、ぜひ活用して応援してください。申し込みは最寄りの東海ろうきんにお問い合わせください。

半田市社会福祉協議会様より物品のご寄付をいただきました！

半田市社会福祉協議会様からは以前にもお米や餅米なども様々な物品のご寄付をいただいてきました。今回もお菓子や水のペットボトル２４本入り５箱いただきました。いつも大変助かっています。ありがと うございました。

今後の予定と活動

のばす会の終業と始業	終業１２月２３日（水）　始業　１月　７日（木）
冬休み寺子屋事業	１２月２４日（木）、２５日（金）、２６日（土）１０時～１２時、２７日（日）１３時～１５時
文化祭	１月２３日（土）１２時３０分～１３時３０分　アイプラザ半田小ホール
のばす会お助け講座	１月２３日（土）１４時～１６時　アイプラザ半田小ホール テーマ「のばす会を知ってスタッフになろう」 講師　のばす会スタッフ
のばす会終業	３月２４日（水）
卒業・進級を祝う会	３月２７日（土）１０時～１２時　アイプラザ半田　２Ｆ研修室
春休み寺子屋事業	３月２９日（月）、３０日（火）、３１日（水）、４月１日（木）　１０時～１２時　（予定）

ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。

(掲載可の方々です)　順不同　敬称略

＜寄付者の皆さま＞　　令和２年８月～

松本涼子、西川理恵、長谷川元洋、九澤郁子、川田容子、伊藤敦、伊藤八千穂

＜ろうきん寄付システムの皆様＞令和２年 11 月末まで　＊毎月のご寄付ありがとうございます。

＜書き損じハガキ、未使用切手回収事業＞

有志の方よりたくさんのはがきや切手のご寄付がありました。ありがとうございました。今回改めてお名前を掲載させていただきお礼申し上げます。相談に来られた方や卒業された方にニュースレターを送る費用にさせていただいています。

鈴木郁夫、磯貝明子、榊原紀美子、苫谷三友紀、伊藤八千穂、石川明世、市野文代、磯貝翔也、渡辺陸巽幸代、新村由美子、石川薫

＊文具、漫画、お菓子、タオルなどのご寄付ありがとうございました。

皆さんの寄付でのばす会は成り立っています。
ご支援ください

年会費・寄付金の振込先

□年会費 2,000 円　□寄付金 1 口 1,000 円から

①知多信用金庫　美原支店　口座番号　普通　2074829
名義：子どもたちの生きる力をのばすネットワーク 会計 伊藤　敦

②東海労働金庫　半田支店　口座番号　普通　4500549
名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
代表理事　赤松　由隆

③ゆうちょ銀行　振替口座　口座番号 00810-9-154412
加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

☆名義名がそれぞれ違い、ご不便をおかけしますが、お間違えのないようにお願いします。

スタッフ募集中

一緒に遊んだり

一緒に学習したり

寄り添ってくれる人

週に１回でもいいです！

下記連絡先までご連絡ください。

連絡先　080-1622-5717

赤松　由隆